

12月19日地方創生☆政策アイデアコンテスト2020最終審査会がリモートで開かれました。昨年は東京まで行ってプレゼンをした

のですが、今年は新型コロナ感染拡大防止のためリモート発表となりました。審査員を前にすると勝手が違い、なかなか伝えるのが難しかったようです。審査員からの質問もその意図をくみ取るのに時間がかかるとうまく返すことができなかつたりしますし、問の取り方や誰が答えるのかといったところで慣れも必要だと感じました。それでも昨年までの研究を引き継ぎ近畿経済産業局長賞を受賞し、最終審査まで来れたことは大変立派なことだと思います。先輩たちの思いを引き継ぐことで地域活性に結び



リモート発表イメージ画面(練習時)



つけることは、このコンテストの趣旨でもあろうかと思えます。昨年度を超えることはできませんでしたが、協賛企業賞をいただいたということでした。コロナ禍の中、本当によく頑張りました。ご協力いただいた先生方、地域の方々、本当にありがとうございました。

そして、翌20日は、やしろショッピングパーク Bio で生活科学科の販売実習が行われました。午後からは屋

上駐車場壁面アートに関するイベントが開催され、壁面制作にあたった書道部と生活科学科有志が紹介され、記念品をいただきました。

非常に寒い中ではありましたが、11月下旬に下絵を描き始め、期末考査後に仕上げにかかり完成にこぎつ

きました。Bioに行かれたら是非ご覧になってください。駐車場南西部分に社高校の校舎が描かれています。午前中から頑張ってくれた生活科学科製菓班の皆さんは、交代で販売。生菓子は今年初めてということもあり、開店前から行列ができていました。2時間ほどで午前分が完売。追加の仕上げ作業をして、午後からの販売に間に合わせるなど準備から含めて大変な作業の中、販売実習を終えたようです。屋上での販売ということで、5個入と2個入のセットを最初から作り、焼菓子と一緒に販売していました。私は2個入を買ったのですが、甘さも程よく、とても美味しくいただきました。生徒たちにとってはこのような販売経験が貴重な経験となります。今年は先月始まったところですが、こういった場を与えていただくことに感謝して、新たな商品作りに励んでほしいと思います。寒い中、引率の先生方も本当にありがとうございました。



さて、そのイベントに来られ挨拶をされた安田加東市長が「Bio」の由来について話をされていました。「やしろショッピングパーク Bio は今年でできて24年が経過します。Bioは Beautiful in oasis の略です。昭和55年から将来的なビジョンの中で計画が始まり、平成8年5月に開店。地域商業の中心となるショッピングセンターとしての機能を担っています。」という説明をされました。Bio の由来を初めて聞き、また非常に長い間かけて計画されてきたことなどを聞き、改めて地域活性の意味を考えさせられました。地域連携の在り方や地方創生の原動力となるべく加東市に一つしかない高校の生徒の活躍への期待感を示していただいた挨拶でした。身の引き締まる思いで聞かせていただきました。

12月21日は冬至です。1年で一番日の出ている時間が短くなります。日の出が7時3分、日の入が16時53分です。1月8日の始業式時点では日の出が7時7分、日の入が17時5分と16分ほど長くなります。寒さは続きますが、確実に日は長くなり春に向かっていきます。今週で2学期は終わります。令和3年、新年のスタートを気持ちよく切ることができるように、学習面、部活動面等気持ちの整理を図り、充実した時間を過ごせるようにしてください。進路の決まった3年生は次のステージの準備を。よろしくお願ひします。